

## 第六回「万葉集を楽しむ会@花奈雅和」のご報告

コロナの影響で4月、6月の講座が休講となってしまいましたが8月19日に第6回「万葉集を楽しむ会@花奈雅和」を10名の参加者のもとで開くことができました。なお、4名のメンバーはリモートで8月17日、29日の講座に参加しました。

今回のテーマは「ハス(蓮、荷)、ハチス」です。早朝に咲き、昼にとじ、3日繰り返えし4日後には散ってしまう。葉がメートル以上にもなり、撥水効果があります。その地下茎はレンコンとしてなじみ深い野菜です。また、<sup>み</sup>実は滋養強壮、鎮静に古来より重用されています。さらに、花托がハチの巣に似ていることからハチスと呼ばれたものがハスと転訛したそうです。葉に酒や茶を入れて茎から飲む象鼻杯(ぞうびはい)という風流な行事があります。



ハスの花



大賀ハス(2000年前の種子から発芽)



葉に溜まった水玉



ハチの巣のような花托

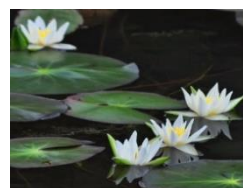


象鼻杯

蓮華(れんげ)はハスとスイレンの総称で、混同しがちですがその違いについて教えていただきました。(省略)



スイレン  
(他に赤と白もある)



ヒツジグサ  
(日本原産のスイレン)

万葉集にはハスの歌が4首ありますが、そのうち2首をご紹介します。

(原文)蓮葉者 如是許曾有物 意吉麻呂之 家在物者 <宇>毛乃葉尔有之  
(訓読)蓮葉は かくこそあるもの 意吉麻呂が 家なるものは 芋の葉にあらし  
(意味)蓮の葉とはこのようにこそあるものです。意吉麻呂の家にあるのは里の葉のようだ  
16/3826 長寸意吉麻呂(ながのいみきのおきまる)

即興歌の得意な作者は芋(イモ)と妹(イモ)をかけて、ハスの葉と比べてイモ(妻)の葉をけなし  
ているような歌ですが、これは先生によると「おのろけ」の歌だそうです。

(原文)久堅之 雨毛落奴可 蓮荷尔 渟在水乃 玉似く有将>見

(訓読)ひさかたの雨も降らぬか蓮葉はちすばに 溜まれる水の 玉に似たる見む

(意味)雨が降って欲しいですね。蓮の葉にたまった水が玉のようになるのを見ましょう。

16/3837 作者未詳

これは歌のうまい宮中警護の官人が誘われて即興で詠ったものです。溜(たま)まれる水の玉(たま)に似たる見むと「たま」で韻を踏んでいます。左註の中に「食べ物を盛るのにすべてハスの葉を用いた」という説明があります。このように万葉集の時代にはハスは日常生活に密着した植物でした。平安時代になると仏教と結びついた花になります。平安時代に詠われた僧正遍照のハスの歌を教えてくださいましたが、ハスが仏教と深く関わりがあったことがうかがわれます。

続いて、ハスにちなんで平安時代の六種の薫物(むくさのたきもの:6種類の練り香)についてもお話しいたしました。そのうちの一つである「荷葉(かよう)」は蓮の香りをイメージしたもので、清涼感ある夏の香りだとのこと。鳩居堂で平安時代と同じレシピで作られています。

今回の先生の着物は、紅蓮華(ぐれんげ)のハスを思わせるピンク。帯はモネのスイレンのイメージだそうです。帯留の模様もハスでまとめられました。



換気に気をつけてソーシャルディスタンスを取って行われました



最後に参加者の皆様の感想の一部を紹介させていただきます。

- 大賀ハスが 2000 年前の種子を発芽させたものだということに驚きました。溜たままれる水の玉たまに似ていると韻を踏んだ歌が即興であることにも驚きました。
- ハスは仏さんの花だと思っていた。練りに練られた平安時代の歌と万葉の人間味のある歌の違いを面白く感じました。
- 友人である辰巳琢朗氏のオペラ歌手の娘さんが百人一首を歌ってくださった時にも思いましたが万葉の歌も声に出すことでの素晴らしさを感じました。
- 夫が東男なので関西人の男の人と違って妻を芋に例えることはあり得ません。蓮の葉でお酒などを飲む遊びは粋だと思いました。
- 仏教の造花のハスのイメージが芥川龍之介の「蜘蛛の糸」を読んだ時に変わったのですが大人になって改めてハスの花の美しさを感じました。ハスとスイレンの違いがよくわかりました。花が開くときにポンという音はしないという事実にびっくりしました。

加えてリモート参加して下さった方たちの感想も付け加えます。

●ポーっとした毎日にちょっと知的なひと時が加わり嬉しかったです。子供の頃歌っていたレンゲの花は実は野原のレンゲではなく蓮華と知り“何も考えないで歌っていたな”と恥ずかしくもなりました。●各地からのご参加の方々のお声も聴けてとても良かったです。蓮についても大変興味深かったです。万葉集の時代と歌で繋がれるこの講座を、リモートのおかげで聞き逃さずにすんで本当によかったと感謝しています。●初めてのリモート会に参加でき楽しく皆様方と勉強させていただきありがとうございました。参加された中で姫路出身の方が2名おられ同郷の親しさを感じました。●初めてのリモート、ドキドキでしたがぶっつけ本番で入室成功！！いつもの楽しい講義や初めてお会いした奈良・静岡・群馬・神奈川の皆様とのお話が弾みあつという間の2時間。勿論リアルな講義を受けるのが希望ですが、夜のリモート講義も忙しい主婦にとってユツタリと至福の時間を持つことが出来たと思っています。

### 第7回万葉集を楽しむ会@花奈雅和のお知らせ

開催日時: 10月21日(水) 定員12名

場所: プララ杉田 505号室

参加費: 1500円

◎参加申し込みは下記へお願いいたします。

杉本啓子: [keni9@yahoo.ne.jp](mailto:keni9@yahoo.ne.jp)

令和2年9月2日 文責:三浦美智子・高木紀世子

~~~~~

### 万葉集を楽しむ会@花奈雅和

講師 吾意在野游・高木紀世子

世話役: 水野裕子(代表世話役)、杉本啓子(名簿管理)、三浦美智子(書記)  
多比良恵子(会計)

~~~~~

### 追加情報

10月21日にご都合の悪い方は下記に参加できます。参加ご希望の方は直接講師にご連絡ください。会費は同じ1500円です。 [paksara3t@r7.dion.ne.jp](mailto:paksara3t@r7.dion.ne.jp)

#### **「リアル」 定員12名**

R2.9.29(火) 10:00~

R2.10.4(日) 10:00~

R2.10.14(水) 10:00~

#### **「リモート」**

R2.10.19(月) 10:00~

R2.10.20(火) 20:30~